

箆筒に這ひ上つて、小さいく戸を、一寸ほんの小さい小さい位、一寸だけのぞいて見ました。すると、中から、ブツと音がしました。

「わかつた、わかつた」

と小さいく叔母さんが云ひました。そしてふしぎな事には、それつきり、ブツと云た音だけで何もありませんでした。

(イギリス)

小さいパン

或日、お婆さんがパンを二つこしらへやうと思つて、火ばちのあみの上に、のせて置きました。するとお爺さんが『これはおもしろいさうなパンだ、私はおいしいパンが何よりも好きぢや』と云て、一つ、つまみました、パチンと二つに割つて食べはじめました。さうすると、オヤ／＼、も一つの方のパンが、

「つかまへたら、えらい」

と云ひながら、戸の外へころがり出しました。お婆さんがそれを見つけて追ひかけましたか、とう

とうつかまえられませんでした。小さいパンはどんな／＼ころがつて山を昇つて、坂を越えて、田舎のお婆さんが、バタをこしらへて居るお家の處まで行きました。お婆さんは丁度バタをこしらへあげる處で、子供のジャックさんは、そばで見えて居ました。お家の戸はあけつばなしになつて居ました。すると何だか、コロ／＼轉がつて、お臺所の方へ行たものがあります。

「ごらんなさい、お母さん、何でせう」と、ジャックが申しました。

「まあ小さいパンですよ、さあ、早くつかまへてこの出来たてのバターで、御飯の時に食べませう」と、お母さんも、一緒に、パンの後を追ひかけました。

ジャツクはバターやミルクの入れ物を、ひつくりかへして、室中かけました、その中パンは、

「つかまえたら、えらい」

と、云ひながら戸の外へ轉つて行てしまひました。それから山を越えて、野原を通して、コロコロ走つて、水車小屋の處まで行きました。小屋のおぢさんは袋へ麥粉をつめてゐました、そして子供がそれを車につんで、町へ持て行かうと、まつてゐました。小屋の戸はあけはなしになつてゐました。すると何だか小屋の中へ轉がりこんで、大層早くクルクルと床の上を走て行きます。

「御覽なさい。あれ、パンが。早くつかまえて、御辨當にしよう」

と、おぢさんが云ひました。そして子供と二人で

パンの後を追ひかけました。ジュミーは麥粉の袋をひつくりかへしましたので、床の上が粉だらけになりました、そしてさわいで居る中に、

「つかまえたら、えらい」

と云ひながら、戸の外へパンは轉つて行てしまひました。町を過ぎて、村を通して、小道の上を、コロコロと小さいパンは轉つて行きました。そしてかぢやの店の處へ來ました。かぢ屋のおぢさんはお百姓さんのつれて來た馬の足に、鐵かねをはめて居ました。お店の戸があけつばなしになつて居ました。すると何だか、コロコロ轉つて來て、床の上を大層早く走て行きます。

「まあ、ごらんなさい、何でせう」

とお百姓さんが、びつくりして、云ひました。

「あ、パンですよ、早くつかまへて、おやつにしませう」

と、かぢやさんが云ひました。そして二人でパンを追ひかけました。パンはコロコロ鐵砧かねどきの圍まわりを

轉つて、お店の角すみの方にあつた鐵の積み重なつた影にかくれました。

「あ、その鐵をすこうし、一寸、うごかしませう」と、鍛冶屋が云ひました。して、その通りにしましたら、鐵の間から、スルツと何かぬけ出しました。

「つかまえたら、えらい」

と云ひながら、又戸の外に、バンはかけ出して行きました。山を上つて、坂を下りて、バンはコロ／＼轉つて羊飼ひの小屋のところまで來ました。

羊飼ひのおぢさんは、杖をなほして居ました、そしておばさんは晩の御飯のおしたくをして居ました。そして小屋の戸は、あけつばなしになつて居ました。すると何かが、コロ／＼轉つて來て、お室の中を大層急いで走て行きます。

「御覽なさい、何でせう」

と、おぢさんが云ひました。するとおばさんが、「小さなバンですよ、つかまえておかゆと一緒に

煮ませう」と云ひました。

そして、おぢさんと、おばさんと、小さいバンを追ひかけました。バンはテールブルの下を轉がつて壁のすきの處に、はさまつてちつとしてゐます。

「おぢさんその杖でつついて下さい、おさじで受けませう」

とおばさんが云ひました。

おぢさんが杖を持って、テールブルのそばまで行くとおばさんは筒からおさじをいそいで取らうとして煮えかゝつてゐるお粥をひつくりかへしました。大さはぎをしてゐる間に、

「つかまえたら、えらい」

と、云ひながら、バンは戸の外へころがつて行てしまひました、小山を下りて、コロ／＼コロ／＼バンはまた走りました。

「まあ、ずるふん、長い間、かけたこと。すつかりくたびれてしまつた。もう今日はよさう。あの涼しりうな小川のそばの草むらの所で明日ま

